

知的財産専門職大学院 科目等履修制度

- 知的財産に興味はあるが、修学の時間が取れない方
平日夜の講義は、梅田キャンパスにて開講しています。
ほとんどの科目は、平日夜間、あるいは、土曜日（大宮キャンパス）に開講しています。
業務の都合や遠距離のために通学が難しい人も、メディア授業（遠隔授業）で履修をすることができます。
- 知的財産の特定の領域に限定して専門知識・最新情報を修得したい方
任意に選んだ科目を1科目から受講可能です。
- 将来、本専門職大学院に入学をご検討中の方
所定の成績を修めた場合には単位を認定します。
入学後の単位に算入可能です。



大阪工業大学

■ 科目等履修に関するご相談

大阪工業大学 知的財産研究科事務室

電話：06-6954-4163 FAX：06-6954-4164 メール：OIT.Pbu@joshu.ac.jp

2024.3.1. 更新

科目	単位	時期	担当	内容
特許法・実用新案法要論Ⅰ【MR】	2	前期	榎本 吉孝 他	特許庁出身の専門家が、特許取得に関する法規定及び審査手続を体系的に解説します。特許法の基礎とその審査に関する運用を理解するのに最適です。
特許法・実用新案法要論Ⅱ【MR】	2	前期	小林 昭寛	特許庁で法律改正等を担当した専門家が、特許権、実施権、権利侵害などに関する特許法の規定について体系的に解説します。特許法の基礎から応用までを理解するのに最適です。
意匠法要論【MR】	2	前期	伊藤 宏幸	意匠法の体系を意匠出願から特許庁への応募、デザイン保護と権利活用について、現役の特許庁の意匠審判長経験を持つ専門家が明快に解説します。意匠の実務に必須です。
商標法要論【MR】	2	前期	茂木 祐輔	特許庁出身の専門家が、商標法の全体像、商標法の目的、商標や使用の定義、商標の機能等、商標法理解の基礎となる知識について詳細に説明します。その上で、商標取得に関する法規定(商標の登録要件)を体系的かつ詳細に解説します。商標法の基礎とその審査に関する運用を理解するのに最適です。
著作権法要論【MR】	2	前期	関堂 幸輔	著作権法全体について、現代的課題や実務上の諸問題も含め、専門家が分かりやすく解説します。
不正競争防止法要論【MR】	1	前期前半	大塚 理彦	近時、重要性を増しつつある不正競争防止法について、その基本的な体系や主要な論点を企業知財経験者が明快に解説します。
著作権法特論【MR】	2	後期	甲野 正道 他	権利制限や権利侵害、技術的保護手段、著作権に関する国際条約、著作権等管理事業法など、著作権制度上の重要課題について解説します。
不正競争防止法特論【MR】	2	後期	大塚 理彦	不正競争防止法の重要な論点に関する裁判例を採り上げた演習と解説を通して、実務に必要な法解釈と留意点を企業知財経験者が解説します。
コンテンツ知的財産特論【MR】	2	後期	甲野 正道 他	音楽、出版、放送番組やデザイン、ファッション更には AIなどをめぐる知的財産にかかわる現代的な課題等について、各分野の専門家が解説します。
民法要論【MR】	2	前期	吉田 悦子	知的財産法を学ぶにあたり、その基礎となる法的な基礎知識、民法と知的財産諸法の関係を学びます。財産法全般にわたる基本的事項、物権と債権、契約(ライセンス)などを中心に事例を通して学習します。知的財産法は、民法の法理論を応用しています。民法の学習を通して、法を体系的に習得し、民法から知的財産法を関連づけて考える基礎力の醸成を目指します。
民事訴訟法要論【MR】	2	前期	水野 五郎	民事訴訟の判決手続の基本構造、原則を学びます。原告と被告はどのような主張、立証をすべきか、裁判所は、当事者の権利主張、主張事実、証拠をどのように取り扱うのか、についての基本原則(処分権主義、弁論主義、証明責任)を中心に、具体的な事案に沿って学習します。これらの学習を通じて、民事訴訟の基本だけでなく、実体法の使い方を習得することができます。
特許法・実用新案法特論Ⅰ【MR】	2	後期	杉浦 淳	特許審査に関する、分割出願、優先権、外国語書面出願等の応用的な手続きを、特許審査・審判のベテランである特許庁出身の審判長が詳細に解説します。特許取得に関する実践的な手続きを詳しく知るには最適です。
特許法・実用新案法特論Ⅱ【MR】	2	後期	小林 昭寛	審判、特許異議申立て及び審決等取消訴訟の手続実務について、特許庁出身の専門家の解説により詳細に学修します。審判や審決取消訴訟を詳しく知るには最適です。
意匠法特論【MR】	2	後期	伊藤 宏幸	意匠権取得に関する高度な手続きや意匠権の活用について、意匠審決、判決から意匠の認定や意匠の類否、創作非容易性、侵害等を、現役の特許庁の意匠審判長経験を持つ専門家が解説し、演習を通して修得できます。
商標法特論【MR】	2	後期	茂木 祐輔	特許庁出身の専門家が、出願・審査に関する手続、各種審判制度、商標権や使用权、権利侵害に対する対応(侵害に対する救済措置、侵害主張に対する抗弁)などに関する商標法の規定について体系的に解説します。審査後や権利取得後の対応について理解したい方に最適です。
商標実務特論【MR】	1	後期	茂木 祐輔	特許庁出身の専門家が、商標に関する実務(ブランド戦略と商標出願戦略、企業の商標担当者が意識すべき点、二段書き商標の問題点、日本及び海外における商品・役務の指定上の注意点、マツコプロコ利用時の注意点、事例から学ぶ中間対応と侵害対応、不使用取消審判への対応など)について、実務的な演習課題を解きながら解説を行います。商標の実務を理解したい方に最適です。
特許出願作成演習【MR】	2	後期	十河 誠治	特許出願書類である特許請求の範囲・明細書の作成における、先行技術に対する構成上の差異、発明の作用効果、記載要件等を意識し、かつ権利行使まで見据えた書き方について、演習を通して現役の弁理士が懇切に解説します。
審査審判対応演習【MR】	2	前期	小林 昭寛	実際の審判事件・訴訟事件から精選された理解し易い事例に基づき演習方式の授業です。新規性・進歩性などの特許要件や記載要件などの実際の判断実務を、特許庁出身の専門家から学びます。
知的財産訴訟公特論【MR】	2	前期	富宅 恵 田中 崇公	知的財産権の活用は企業の発展の鍵です。単なる法律知識だけでなく、現実の知財紛争解決に必要な実務上の知識と能力を現役の実務家から学修できます。
知的財産情報検索分析要論【MR】	2	前期	三浦 武範 他	効率的な研究開発・特許出願・特許権取得には情報検索と分析のスキルが欠かせません。本科目で特許情報の検索・分析をマスターし、効果的な調査方法の基本を修得します。
知的財産情報検索分析特論【MR】	2	後期	三浦 武範 他	特許・商標・意匠に関する国内外の情報検索やパテントマップ、IP ランドスケープ等を活用した分析手法について演習を交えて学びます。
医薬特許要論【MR】	1	後期前半	箱田 聖二	医薬品に特有な特許戦略を実務的な観点から習得できます。また、企業人として求められる特許実務の基本的知識と能力および姿勢も習得できます。
情報と知的財産【MR】	1	後期後半	杉浦 淳	情報技術及びデータを活用するために必要となる様々な知的財産の知識を、各知的財産の第一線の実務専門家が、最新の事例に基づいて詳細に解説します。
機械技術要論【MR】	2	後期	西井 光治	空調・テレビ・自動車・エネルギー関連機械などに関する基礎的知識の習得と、知財を扱う者として、これらの技術とどう接し、どう学ぶべきかを、企業の知財マネジメントの観点から修学し、実践力を養います。
電気電子要論【MR】	2	前期	村川 一雄	電気・電子分野において基礎となる電気現象や磁気現象や半導体集積回路、論理回路、情報通信、信頼性評価、暗号、3Dキヤド機械学習などの幅広い基礎知識を、座学と演習を通して修得できます。
応用化学・生命工学要論【MR】	2	前期	箱田 聖二	有機化学およびバイオ関係特許の特許請求の範囲および明細書を読んで理解できるようにする事を目的とし、基礎知識を習得します。

科目	単位	時期	担当	内容
情報技術要論【MR】	2	前期	村川 一雄	IoT 時代における不可欠な情報技術（コンピュータ、ハードウェア、ソフトウェア、データベース、セキュリティ、ネットワーク、プロジェクト開発など）の広範囲な基礎知識を修得することで、情報リテラシーの向上、およびITパスポートや情報処理技術者資格等の取得に向けた準備が図れます。
発酵及び食品学要論【MR】	2	前期	角田 全功	発酵学では微生物の分類、代謝経路、清酒等の発酵食品について、また、食品学で栄養素、食品の嗜好機能、健康機能等について解説します。発酵学及び食品学の基礎的知識を習得できます。
知的財産 関連条約要論【MR】	2	前期	松井 章浩	知的財産に関する国際条約の基本となる「リッパ条約」とTRIPS 協定を学修し、グローバルな知的財産活動を支える知識を獲得します。
知的財産 関連条約特論【MR】	2	後期	小林 昭寛	特許協力条約(PCT)、商標の国際登録に関するマドリッドプロトコル、意匠の国際登録に関するハーグ協定について学修し、グローバルな知財活動に活用できる知識を養います。
米国知的財産法特論【MR】	2	前期	杉浦 淳 他	米国知的財産法を初めて学ぶ者でも修得しやすいように、その基礎と応用を、米国の法制度に関する説明を踏まえた上で、最新の状況を交えて解説する。
中国・アジア 知的財産法特論【MR】	1	後期 前半	角田 全功 他	中国・アジアでのビジネス展開を知財面から支援する上で必要な中国・アジア主要国の特許、意匠、商標、著作権についての知識を習得できます。
欧州知的財産法特論【MR】	1	後期 後半	角田 全功 他	欧州でのビジネス展開を知財面から支援する上で必要な欧州の特許、意匠、商標、著作権についての知識を習得できます。
知的財産 国際訴訟特論【MR】	2	後期	松井 章浩	今後の国際的なビジネス展開に不可欠な知的財産権の国際的活用により生じる紛争解決に必要な知識(日本における国際訴訟、国際私法、外国における訴訟、国際訴訟競合、国際仲裁、企業における訴訟実務)を獲得します。
知的財産 国際関係法要論【MR】	2	後期	松井 章浩	知的財産に関する国際的なビジネス問題の理解に不可欠な国際法や国際経済法(管轄権、域外適用、宇宙、ビジネスと人権、WTO、貿易、投資、環境、情報)を学修し、グローバルなビジネス活動を支える知識を獲得します。
知的財産会議英語 演習【MR】	2	後期	小林 昭寛	知的財産に関し英語で行われた講義やセミナーの録音・録画素材をピアリング教材として用いて、リスニング能力を強化し、これを起点として速読能力、ライティング能力、プレゼン能力を鍛えます。
Intellectual Property Studies (Summer Intensive)※2	2	夏期 集中	内藤 浩樹 他	将来のグローバルな知的財産制度の動向に関する英語での講義や、海外事業に秀でた企業への訪問による意見交換会に加えて、海外の大学からの受講生とともに英語でのグループ討論を通じて修学することにより、グローバルな知財専門知識を短期集中で高めることができます。
Intellectual Property Studies I	2	前期 集中	内藤 浩樹 他	グローバルな知的財産業務の遂行のための基本スキルとしての知的財産の基本知識である法律・実務系の知識と、その業務遂行に必要な英語力を学習できます。
Intellectual Property Studies II	2	前期 集中	内藤 浩樹 他	グローバルな知的財産業務の遂行のための基本スキルとしての知的財産の基本知識であるビジネス系の基礎と、その業務遂行に必要な英語力を学習できます。
Intellectual Property Studies III※2	2	後期 集中	内藤 浩樹 他	グローバルな知的財産業務の遂行のための基本スキルとしての知的財産の基本知識である法律・実務系の知識とビジネス系の基礎を統合した応用的な知識と、その業務遂行に必要な英語力を学習できます。
経営学要論【MR】	2	前期	長谷川 光一	知的財産権は主として企業によって取得・活用されるため、企業がそもそもどのような活動を実施しているかを知っておくことが重要になります。本科目は、経営学に関する基本的知識を身につけることを目指します。
事業戦略事例研究 I 【MR】	2	前期	小林 昭寛 他	企業の実例の事例(特許庁が経営学者に取材・製作を委託したもの)を使用して、グループ討議形式の授業を行うことにより、事業戦略と知財マネジメントを学びます。本研究科の教員が共同で指導します。
事業戦略事例研究 II 【MR】	2	後期	小林 昭寛 他	企業の実例の事例(特許庁が経営学者に取材・製作を委託したもの)を使用して、グループ討議形式の授業を行うことにより、事業戦略と知財マネジメントを学びます。本研究科の教員が共同で指導します。
知的財産事業化演習	2	通年	小林 昭寛 他	PBL(Project-Based Learning)方式の演習により、知的財産に基づく事業化やマーケティングに関するスキルを身につけることをねらいとする科目です。本研究科の複数の教員が共同で指導します。
知的財産マネジメント 要論【MR】	2	前期	内藤 浩樹	企業競争力の強化に向けて、知的財産を経営に活かすために必須となる、知的財産に関する企業会計、ポートフォリオマネジメントなど、経営上の基本知識を、グローバル企業の元責任者から学修できます。
知的財産マネジメント 特論【MR】	2	後期	内藤 浩樹	知的財産を経営に活かすために企業内部において必要となる組織、社内規程、権利化手法など、知的財産のマネジメントの手法をグローバル企業の元責任者から学修できます。
知的財産評価特論 【MR】	2	後期	小林 誠	知的財産は、それを保有する企業の経営戦略や事業戦略、知財戦略により評価が大きく変化します。企業競争力の根源を形成する知財を適正に評価するための知識と手法、および最近のトピックについて体系的に学修できます。
IP ビジネス契約 特論【MR】	2	前期	上田 亮祐	知的財産契約の理解の前提となる特許法・民法など各法律の基礎、並びにライセンス契約をはじめとする知的財産権に関する契約の基本及び応用を、知財実務に携わる現役の実務家から学修できます。
国際 IP ビジネス 契約特論【MR】	2	後期	山本 飛翔	知財米中の覇権争い、国際契約も米国のみならず、中国独自の契約の重要性も顕著になり、企業で国際契約に臨むられませんが、英米法、中国法による契約の基礎から応用まで、模擬ライセンス交渉や契約演習を通じて海外ビジネス成功の要となる実務をプロから学修できます。英語の苦手な人も学修できます。
技術標準と 知的財産特論【MR】	2	前期	村川 一雄	グローバル化する世界経済において、プロダクトや技術の円滑な展開には技術標準と知的財産への取組みが不可欠です。本講義では、座学と標準化事例研究(フェリカや 5G、標準必須特許訴訟など)を通して、技術標準と知的財産の活用方法や知財戦略立案の重要なポイントを修学することができます。
マーケティングと ブランド特論【MR】	2	後期	石川 克司	企業と消費者とのコミュニケーションツールとしてのブランドの意義や、マーケティング及びブランドと知財との関係性及び知財を活用するブランド戦略について、実例の研究やワークショップを通じて商標専門の弁理士から学修できます。
マーケティングと デザイン特論【MR】	1	後期 前半	伊藤 宏幸 他	デザインは、製品の品質や技術、コンセプトを伝える重要な要素であり、企業の顔となってブランド形成に大きく影響します。デザインとマーケティングの関連性、デザイン戦略や知的財産保護に関するマーケティングの実務について学修できます。

※1 記載の科目についてはMS(双方研式メディア授業)に対応しており、【MR】印が付けられている科目については録画研式メディア授業にも対応していることを示している。「双方研式メディア授業」とは、インターネット上のビデオ講義サービスを通じて講師から参加することができる授業である。「録画研式メディア授業」とは、授業を録画した映像を授業終了後から一定期間限りインターネット経由で視聴することができる授業である。なお、いずれも履修者がパソコン等の準備をする必要がある。またメディア授業受講者であっても、定期試験実施科目においては試験実施日に試験実施会場での受験が必要。

※2 講義内にて学外施設での研修を予定しておりますので、一部の回は対面受講が必要となります。

■履修期間 曜日・時限はお問い合わせください

前期 4月開講	2024年4月5日(金)	～	2024年7月24日(水)
前期前半4月開講	2024年4月5日(金)	～	2024年6月3日(月)
前期後半6月開講	2024年6月6日(木)	～	2024年8月1日(木)
夏期集中講義	2024年8月26日(月)	～	2024年8月30日(金)
後期 9月開講	2024年9月19日(木)	～	2025年1月22日(水)
後期前半9月開講	2024年9月19日(木)	～	2024年11月20日(水)
後期後半11月開講	2024年11月14日(木)	～	2025年1月31日(金)

■出願資格 下記のいずれかに該当する方

1. 大学を卒業した者
 2. 大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者
 3. 外国において学校教育における16年の課程を修了した者
 4. 文部科学大臣の指定した者
 5. 外国の大学その他の外国の学校において、修業年限が3年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者
 6. 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
 7. 個人の能力の個別審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があると研究科委員会が認めた者で22歳に達した者
- ※ただし、7の場合は、事前にご相談いただく必要があります。

■出願期間 ※募集開始は例年2月下旬を予定

・前期締切 2024年3月9日(土) 必着 / 後期締切 2024年7月20日(土) 必着

■出願方法

科目等履修出願要領（知的財産研究科ウェブサイトに掲載）をご覧ください。

出願書類を教務課宛に郵送にて提出してください。

下記期間のみ、教務課（大宮キャンパス1号館2階）で窓口出願も受け付けています。

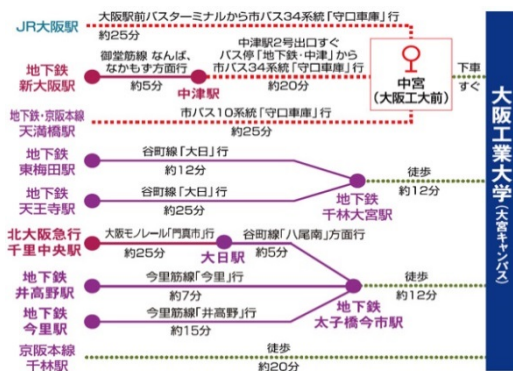
・前期受付分 2024年2月28日(水)～3月9日(土) ・後期受付分 2024年7月8日(月)～7月20日(土)

〔受付時間〕 13:00～16:30（日曜・祝日を除く）

■出願・履修費用

検定料：5,000円 履修料：1単位あたり35,000円（2単位科目の場合、70,000円です。）

大阪工業大学 大宮キャンパス



梅田キャンパス

